

2020 年第 1 四半期決算

Press release

パリ、2020 年 4 月 30 日

2020 年第 1 四半期の業績

フランス国内リテールバンキング部門と国際リテールバンキング & 金融サービス部門の堅固な業績

フランス国内リテールバンキング部門の基礎となる収益率：10.7%⁽¹⁾

国際リテールバンキング & 金融サービス部門の基礎となる収益率：15.4%⁽¹⁾

グローバルバンキング & インベスターソリューションズ部門は市況から著しい影響を受ける

グローバルマーケット事業においては、主に株式のストラクチャード商品への投資が、新型コロナウイルス感染症に伴う 2020 年第 1 四半期末における市場の例外的な混乱の影響を受ける

それ以外の事業は満足のいく業績

コロナ危機の中、リスク引当比率は **65bp** となる（前年同期：21bp）

グループの基礎となる営業費用は減少：前年同期比 **3.6%減**⁽¹⁾

計上されたグループ当期純利益：3 億 2,600 万ユーロの損失、基礎となるグループ当期純利益：9,800 万ユーロ⁽¹⁾

堅牢な財務体質で危機に対応

堅固な財務構造と流動性状況

2020 年 3 月 31 日時点の普通株式等 Tier 1（CET1）比率は 12.6%（見積もりベース：12.7%⁽²⁾）と規制上の要件⁽³⁾を約 350bp 上回っていた

2020 年第 1 四半期の流動性カバレッジ比率（LCR）は平均で 144%、流動性バッファは 2,030 億ユーロ資金調達プログラムの約 45%をすでに完了

貸出ポートフォリオの質は高く、地域・セクターともに分散されている

高度なデジタル戦略に係るのれんが、危機時の経営管理を円滑化している

2020 年の見通し

2020 年にはグループ経費の削減と共に、6 億～7 億ユーロの追加的な経費削減を実現する

リスク引当比率は 2020 年を通じて、コロナ危機の基本的なシナリオに基づく場合には約 70bp、経済活動の閉鎖が長期化するシナリオに基づく場合には約 100bp となる見通し

2020 年末時点の CET1⁽⁴⁾比率は、特別配当金を分配する可能性に関する想定に応じて、規制上の要件を 200bp～250bp 上回る水準を目指す

当グループの最高経営責任者であるフレデリック・ウデアは次のように述べています：

「未曾有の健康・経済・社会危機に直面する中、ソシエテ・ジェネラルの世界中の従業員が決意と不屈の精神を通じて類まれな行動力を示したことに、感謝の意を表したいと思います。当グループは、強い責任感を持って次の 3 点に尽力しています。第 1 に、全ての拠点および事業活動において安全対策を実施し、お客さまと従業員の健康を守る、第 2 に、必要不可欠な事業としてのサービスを継続して提供していく、第 3 に、今回の極めて厳しい時期を通して、従業員、お客さま、サプライヤー、そして全てのパートナーを支援していく。」

当グループは、今回の危機に様々な見識に基づいて対応しており、グループのビジネスモデルの健全性、技術の進歩およびデジタル化にけん引された業務モデルの機敏性、また堅固な資本やリスク・プロファイルに自信を持っています。当グループは今回の危機による即時的な影響への適応に注力しているほか、危機終結後の新たな事業環境を考慮に入れた 2021 年～2025 年の新たな戦略計画の策定にすでに着手しています。」

- (1) 基礎となる数値。会計上の数値から基礎となる数値への移行については、付属書類 2：財務情報の基準となる事項の第 5 項を参照
 (2) 発表された事業売却（+10bp）と EMC の統合（-4bp）の見積もりベース
 (3) 2020 年 4 月 1 日時点：9.05%
 (4) 2020 年度の未払い配当金を含む

本書の脚注*はグループ編成の変更および為替相場の変動による影響の修正再表示後の数値を示す

グループ連結決算

(単位：百万ユーロ)	2020 年 第 1 四半期	2019 年 第 1 四半期	増減	
業務粗利益	5,170	6,191	-16.5%	-14.9%*
営業費用	(4,678)	(4,789)	-2.3%	-0.7%*
基礎となる営業費用 ⁽¹⁾	(4,188)	(4,345)	-3.6%	-1.9%*
営業総利益	492	1,402	-64.9%	-63.8%*
基礎となる営業総利益 ⁽¹⁾	982	1,846	-46.8%	-45.6%*
引当金純繰入額	(820)	(264)	x 3.1	x 3.1
営業利益	(328)	1,138	n/s	n/s
基礎となる営業利益 ⁽¹⁾	162	1,582	-89.8%	-89.4%*
その他資産による純利益または純損失	80	(51)	n/s	n/s
基礎となるその他資産による純利益または純損失 ⁽¹⁾	157	2	x 78.5	x 79*
法人税	46	(255)	n/s	n/s
計上されたグループ当期純利益	(326)	686	n/s	n/s
基礎となるグループ当期純利益 ⁽¹⁾	98	1,065	-90.8%	-90.4%*
ROE ⁽²⁾	-3.6%	4.2%		
ROTE ⁽²⁾	-4.2%	5.5%		
基礎となる ROTE ⁽¹⁾	-0.5%	8.4%		

(1) 特別項目および IFRIC 第 21 号基準による影響の線形化の修正再表示後

(2) ROE、ROTE、RONE については付属書類 2：財務情報の基準となる事項の第 7 項を参照

2019 年 1 月 1 日より、IAS 第 12 号「法人所得税」の改定に伴い、従来連結剰余金に計上されていた、永久劣後債および超劣後債に係る支払利息に関する節税分は、「法人税」の項目に所得として計上されるようになった。2019 年第 1 四半期の比較対象の数値も修正再表示されている。

2020 年 4 月 29 日にビデオ会議により開催されたロレンツォ・ビーニ・スマギ会長を議長とするソシエテ・ジェネラルの取締役会において、当グループの 2020 年第 1 四半期決算が承認された。

基礎となる数値から計上された数値への移行に伴う様々な修正再表示については、付属書類 2：財務情報の基準となる事項の第 5 項を参照のこと。

— 中略 —

連結貸借対照表

資産の部（単位：百万ユーロ）	2020年3月31日	2019年12月31日
現金、中央銀行への預け金	132,389	102,311
損益勘定を通じて公正価格で測定された金融資産	464,642	385,739
ヘッジ目的デリバティブ	20,204	16,837
その他の包括利益を通じて公正価格で測定された金融資産	55,493	53,256
償却原価で測定された有価証券	12,841	12,489
償却原価で測定された銀行預金	63,246	56,366
償却原価で測定された顧客貸出金	461,775	450,244
金利リスクをヘッジしたポートフォリオの再評価差額	434	401
保険業務への投資	156,535	164,938
税金資産	5,589	5,779
その他資産	95,861	68,045
売却目的保有非流動資産	3,654	4,507
持分法適用投資	115	112
有形および無形資産	30,201	30,652
のれん	4,727	4,627
資産の部合計	1,507,706	1,356,303
負債の部（単位：百万ユーロ）	2020年3月31日	2019年12月31日
中央銀行	9,816	4,097
損益勘定を通じて公正価格で測定された金融負債	447,381	364,129
ヘッジ目的デリバティブ	11,452	10,212
証券形態の債務	139,565	125,168
銀行預金	115,628	107,929
顧客預金	442,642	418,612
金利リスクをヘッジしたポートフォリオの再評価差額	8,129	6,671
税金負債	1,353	1,409
その他負債	108,943	85,062
売却目的保有非流動負債	847	1,333
保険契約に関する負債	135,458	144,259
引当金	3,971	4,387
劣後債務	15,003	14,465
負債の部合計	1,440,188	1,287,733
株主資本		
グループ株式の株主資本		
発行済普通株式、資本性金融商品、資本準備金	30,059	31,102
内部留保	32,592	29,558
当期純利益	(326)	3,248
小計	62,325	63,908
未実現または繰延キャピタルゲインおよびロス	256	(381)
グループ株式の株主資本の小計	62,581	63,527
非支配持分	4,937	5,043
株主資本の合計	67,518	68,570
合計	1,507,706	1,356,303

ソシエテ・ジェネラル

ソシエテ・ジェネラルはユーロ圏最大級の金融サービスグループです。多角的かつ総合的なバンキングモデルを採用しています。強固な財務基盤を維持し、イノベーションにおける専門性で高い実績を有しています。持続可能な成長を目標とする経営戦略を実行しており、お客さまから信頼されるパートナーとなり、地域社会と経済に有益な変化をもたらすことを目指しています。

ソシエテ・ジェネラルは、確固たる地位を築いている欧州を拠点に世界に広がるネットワークを通じて 150 年以上にわたり世界経済において重要な役割を果たしています。世界 62 カ国の拠点に 13 万 8,000 人を超える従業員を擁し、2,900 万の個人、法人、機関投資家のお客さまに様々なアドバイザリー・サービスと顧客ニーズに合わせた金融ソリューションを提供しています。

当グループは、以下 3 つの主力業務部門から構成されています。

- ・ **フランス国内リテールバンキング部門**：ソシエテ・ジェネラルの支店網とクレディ・デュノール、ブルソラマのブランド名で、最先端のデジタル技術を駆使した総合的な金融サービスを多様な販売チャネルを通じて提供しています。
- ・ **国際リテールバンキング & 金融サービス部門**：新興国および専門性の高い主要金融ビジネスにおいて主導的地位を築いています。
- ・ **グローバルバンキング & インベスターソリューションズ部門**：定評ある高い専門性、統合型ソリューションを主要な市場で提供しています。

ソシエテ・ジェネラルは、社会的責任投資指数の代表格であるダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス（世界および欧州）、FTSE4Good（世界および欧州）、Euronext Vigeo（世界、欧州、ユーロ圏）、4 つの STOXX ESG リーダーズ指数、MSCI 低炭素リーダーズ指数の構成銘柄です。

詳しくは当グループのウェブサイト www.societegenerale.com またはツイッター [@societegenerale](https://twitter.com/societegenerale) をご覧ください。
